



凸版印刷株式会社 環境デザイン事業部様 共創空间 L·IF·E 訪问記

TOPPAN

あしたを、ここちよい空间(セカイ)へ トータルソリューションによる まちの魅力・価値の向上をめざして

広報専門委員長 柴崎 和彦(クリナップ)

3月13日(水)、広報専門委員会では、同社が東京・秋葉原に2017年10月にオープンした共創空間 L・IF・Eを訪れ、最新の技術を用いた建装材製品をメインに見学させていただきました。

同社は、情報コミュニケーション事業本部、生活・産業事業本部、エレクトロニクス事業本部があり、今回の見学は、生活・産業事業本部環境デザイン事業部のご協力により実現しました。

まずは座学で加藤課長より、会社概要の説明をうけました。同事業部は、印刷技術を基盤に半世紀以上にわたり、家具・建具・壁面・床等の化粧シートをはじめとする建装材製品を提供されています。半世紀の歴史を持つことから、デザインマーケティングにたけており、トレンドにあった意匠、設置条件にあった機能を両立させ、日々とどまることなく、高品質・高意匠な建装材を提案し、人々の豊かなくらしに貢献する環境づくりをされています。

<建装材事業の歴史>

1900年 凸版印刷創業

1956年 建装材事業開始

1970年 建装材デザインセンター発足

1988年 トッパンインターアメリカ創立

2012年 TIAペンシルバニア工場発足

2016年 「環境デザイン」と改め統合

今回見学させていただいた共創空間 L・IF・Eは、『もしも=ifから発想し、未来の生活者のくらし=Lifeを、お客さまとともに描き、ともに創るための空間』として、製品展示だけでなく、製品とIoTなどを活用することで無限に広がる快適生活空間の提案をされています。

L・IF・Eの案内は井ノ口本部長にしていただきました。 内部は、4つのテーマに基づいた展示が行われています。

◎ 共創エリア

ビジネスパートナーやお客さまとのワークショップやディスカッション を通じ、社会課題を解決する新事業・新技術の共創を目指すエリアです。

ONEXT LIFE

同社が考える少し先の未来の生活シーンを具体化したコーナー。来場者のみ体験できる「未来のLife」の提案が見られます。

PAKAGE◆UM(パッケージアム)

商品企画・開発からプロモーションに至るまでのパッケージングトータルソリューションが見られます。

© FOREST

印刷シートや素材のみならず、施エシーンを想定した空間展示など、 建装材製品・サービス・技術が見られます。

会社概要 (2019年4月24日)

凸版印刷株式会社

(本店: 〒110-8560 東京都台東区台東1丁目5番1号)

創業 明治33年 (1900年) 資本金 104,986 (百万円) 代表取締役社長 金子眞吾

事業内容

「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業 分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業 分野」の3分野にわたり幅広い事業活動を展開



未来の「ゆたかなくらし」を共創することを表現 した言葉



L•IF•Eが入る建物外観

【共創エリア】



凸版印刷様の概要説明を聞く見学者一同

【L・IF・Eに関する井ノ口本部長(左)の説明】



印刷技術を駆使したさまざまな建装材製品を提供され、生活者の豊かなくらしに貢献されていることが実感できました

[FOREST]



簡単にお風呂のリフォームができるパネルなど、職人不足に対応する簡易施工商材が展示されています



大崎委員が何種類もあるドアの シート、ハンドルレバーを選択し、 枠に取り付け実際のイメージを 確認しました



VRの説明をされた加藤課長(右)と仮想の 居住空間を歩く体験をした中村総務委員長

共創空間 L・IF・Eは、建装材、提案展示を視察することで、来場者の 創造力が増幅されます。そこに同社の半世紀以上にわたり蓄積され たノウハウを生かして実践されているマーケティング力が合体すると、 共創と作業により、IF(もしも)という発想が生まれます。まずは一度ご 訪問を!当業界にIF(もしも)が実現される可能性を強く感じました。

【2つの一押し】

キッチン・バス・洗面化粧台メーカーとして、ご紹介いただいたさまざまな技術に興味をもちました。その中での一押しが以下2つです。

1. 特殊印刷による、新しい建装材「EMBELLIR」

建装材の印刷・技術力と併せ、30年にわたるキッチン扉、キャビネット制作ノウハウの蓄積により、誕生しました!

特長1. 最新トレンドをいち早く製品化

特長2. オンデマンド生産による工程の最適化、半製品在庫の削減

特長3. より繊細なデザイン・カスタマイズの可能性

(EMBELLIR=アンベリールはフランス語で「より美しくする」の意)



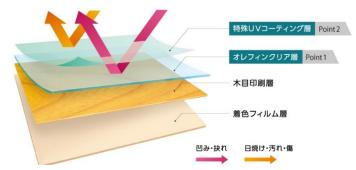
最新のトレンドマーケティングにより、市場のトレンドを 創るデザイン



キッチン面材にカスタマイズしたイメージ

2. 建装材の未来をつくる、ナノ化技術 Smart NANO

同社と東京理科大学発ベンチャー企業 アクテイブ株式会社の産学 連携により生まれた化粧シートを高性能化する技術。「超臨界逆相蒸 発法」を利用したナノカプセルを用いて、世界最高水準の表面性能を 実現しました。



この技術を活用した「床シート」は、汚れに強い特殊UVコーティング層と、硬く 強靭なオレフィンクリア層により、優れた耐久性を実現しています

■所在地:東京都台東区台東1-5-1 ■電話番号: 03-3835-6800 ■ホームページ: forest.toppan.co.jp/

Ab Um

デニカ株式会社

素材感と色調のトレンド

キッチンは、家族が集まるコミュニケーション・センターとして生活空間の中心になり、リビングとの融合は今や常識になっています。ブルムは、キッチンや家具には2つの側面、外観の美しさと内部の機能性があると考えます。

キッチンの外観の美しさとそれに対するお客様のこだわりを実現させることが、より重要になってきました。ブルム社は、大理石や水晶系の石、セラミックなどの多様な材質を使用した最小厚み8mmの前板を、引出やフラップ扉、開き扉に使用できる特殊な固定システムを開発しました。これにより、カウンタートップと同じ材質の前板のキッチンが実現できるようになりました。ヨーロッパのデザイナーはこれに熱狂し、キッチンのデザイン可能性をさらに広げています。この製品は、2018年のiFデザインアワードの金賞とreddot賞を受賞しています。

また、色調としてはダーク系のマットな色が流行しています。これは、前板だけでなく、キャビネットの内装色もダーク系が選択できるようになっています。ダーク系の内装色に対応するために、引出の色も黒やダークグレーを用意して、内装色に調和可能としています。さらに、スライドヒンジにおいても、オニキス石をイメージした黒いメッキのブルモーション内蔵ヒンジ「オニキスブラック」を追加しています。機能だけではなくデザインにも妥協は許されません。



薄い天板と前板の引出「レグラボックス」



薄い扉を使用したフラップシステム「アベントス」



ダーク系の内装に調和したブルモーション 内蔵の「オニキスブラック」ヒンジ



引出の色も、黒やダーク系が追加 白は永遠の定番カラーです

理想のキッチンとは?

ブルムは、ヒンジ、引出、フラップシステムに特化した家具用金物メーカーでありながら、実際のキッチンでどのようにブルムの金物が使用されているかを知るために、世界中のキッチン作業を分析してきました。その結果から生まれたのが、理想のキッチンを作るためのコンセプト、「ダイナミック・スペース」です。

キッチンでの毎日の作業を「楽しく」「快適」にできるキッチンにするには3つのポイントがあります。「ワークフロー」、「スペース」、「モーション」です。「ワークフロー」を最適にするために移動距離を最短にして、作業を行う場所にその作業に使用するものを収納します。これを簡単に実現するためにブルムでは5つのキッチン・ゾーンを設定しました。「食品」、「食器」、「シンク」、「準備」、「加熱」です。それぞれのゾーンで使用される収納物を、最適なキャビネットと収納アクセサリーで収納します。「スペース」を最大に利用するためには、引出をキャビネットの内寸奥行きを最大まで利用できる長さにする、引出の側部の高さを高くして引出の幅を大きくして有効寸法を最大に利用するということが考えられます。また、多くの収納物を取り出しやすく整頓できるスペースタワーは、収納スペース不足の解消に役立ちます。キッチンでの「モーション」を最適にするためには、引出や扉が軽い力で快適に操作できることが重要です。引出が羽のように軽い力で操作でき、ブルモーションで静かにやさしく閉まる。また、電動サポート「サーボドライブ」は前板を軽く押すだけで電気の力で引出や扉を開くことができ、さらに快適です。フラップ扉は扉が上に上がるので、頭を開き扉にぶつけることがありません。ブルムのホームページ上のオンラインソフトウェア「ゾーンプランナー」は、キッチンに収納したいものを選ぶなどの簡単なステップで、ユーザー様の理想のキッチンの実現をお手伝いしています。



「ワークフロー」を最適にするための 5つのゾーン



「スペース」を最大限に快適に 利用するためのアイデア「スペースタワー」



キッチンでの「モーション」を快適にする「サーボドライブ」と「「ブルモーション」

■電話番号:047-437-0310

■ホームページ: www.denica.co.jp

未来を見据えたあたらしいまちづくり スマートタウン「みなとアクルス」

東邦ガスグループが名古屋市港区において2015年5月から開発を進めてきたスマートタウン「みなとアクルス」は、2018年9月にまちびらきしました。

「みなとアクルス」は「人と環境と地域のつながりを育むまち」をコンセプトに開発した新しい「まち」です。自立分散型電源のガスコージェネレーションを中心に、再生可能エネルギー、大型蓄電池などを組み合わせ、ガス・電気・熱の一括供給を行うとともに、CEMS*を構築し、省エネルギー率40%、 CO_2 削減率60%(いずれも1990年比)の実現を目指しています。また、緑豊かな水辺空間を整備するなど、周辺環境と調和したまちづくりも進めています。こうした取組みが評価され、名古屋市から「低炭素モデル地区事業」第1号に認定されました。

「みなとアクルス」では、災害時にもエリア内へのエネルギー供給を継続するほか、近隣の港区役所へ必要な電力を供給するとともに、約9,000人分の津波避難スペースを設けるなど、地域の防災力向上にも寄与します。

当社グループは、「みなとアクルス」を持続的に発展させていくとともに、総合エネルギー 事業のモデル地区として、他地域への展開も視野に今後まちづくりを進めていきます。

※CEMS:コミュニティ・エネルギー・マネジメント・システム



東邦ガス株式会社



みなとアクルス 完成予想イメージ



エネルギーセンター エネルギー需給を一括してコントロールする、 みなとアクルスの心臓部です。省エネ性・経 済性に優れたスマートエネルギーシステムを 実現しました。



オーバルガーデン、オーバルウォーク 約8,000㎡のみどりの大広場にはビオトープや 芝生広場、遊具広場、イベント会場があります。 オーバルガーデンを囲む遊歩道はエリア間の 回遊性を高めます。



キャナルウォーク 敷地内に流れ込む港北運河沿いに、にぎわい と潤いを生み出す親水空間として整備しました。 春には桜やツツジの花々が咲き誇り、お花見を 楽しむことができます。

こんなお話も

多様な機能を持つ複合的なまちをつくります。暮らしをもっと楽しく新しくする、生活を彩る施設により、まちに活気が生まれ、育まれていきます。



プロ厨房オイシス 東邦ガスによる体験型業務用厨房ショールーム



まちのショールーム AQNAVI まちづくりの取り組みなどを詳しく紹介する展示施設

■所在地:名古屋市港区港明2-3-1他



ららは一と名百座がなとアクルス 三井不動産による東海3県初出店の大型商業施設



パークホームズLaLa名古屋みなとアクルス 全戸にエネファームが設置される集合住宅



エコ・ステーション 水素・天然ガス・LPガスの総合充てん施設



ベーカリー&喫茶 チェリー ガスオーブンで焼いたパンが自慢のベーカリーカフェ

■電話番号:052-872-9606

■ホームページ: minatoaguls.com/



当社は創業以来、主にオーダーメイド可能な収納設備の提案・見 積・設計・製造に関わる全ての作業の自動化を目指し、一歩先のビ ジネスの在り方を追求するシステム会社として活動してきました。

既に販売現場の簡単なPC操作のみでオーダー商品の生産が可能なシステムを完成させております。今般さらに進化したシステムをクラウド化することで、従来の大手メーカー様にカスタマイズしたシステムを提供するに留まらず、さまざまな業態のさまざまな規模のお客様にさまざまなビジネスシーンを創造できるシステムを「お客様が必要なアウトプット機能」のみを選択するサブスクリプション方式でご提供します。非常に安価な利用料(月額数万円~数十万円程度)で、生産性向上や新しい価値創造に貢献する事が可能になります。また生活者に直接ご提供するアプリと合わせ、さまざまなビジネスチャンスもご提供することができます。

するこの図面類を

クラウドサービス「FIT」Furniture maker Intelligence Tools

提案~製造に至る業務を自動化できる サブスクリプション・サーズ型システム「FIT」を2019年5月リリースします。

より多くの生産者に「ファニチャーメーカー」システムを提供させていただくために、「クラウドサービス」をスタートします。お使いいただく機能を自由に選択していただくことで、低価格でのスタートアップができるようになります。 【選択できる自動生成機能】

- ・フォトリアルCG ・プレゼンシート ・見積書 ・プラン図 ・コンバイン図
- ・ユニット図 ・部材加工図 ・設計/製造BOM ・ネスティング表
- ・加工設備用CSVデータ 他 基幹システムと連携等のカスタマイズ



デジタルカタログ「mm/style」

販売者向けサイズ別注可能なデジタルカタログ 「mm/style」2019年6月リリース!

販売者がエンドユーザーに家具をご提案・そのまま注文できるタブレット用力タログを開発しております。商品を選んでサイズを決めるだけで、注文が可能。1mm単位のサイズオーダー家具をご提供します。

The state of the s

オーダー家具注文アプリ「カグル」

エンドユーザーが楽しみながら自ら仕様を決めて注文できる、 世界初のオーダー家具注文アプリ「カグル」が7月リリース!

エンドユーザーが自らオーダー家具を設計し、そのまま注文できるスマートフォン向けアプリを開発しております。サイズも仕様も簡単操作で自由設計。FITを通じてオーダー家具を低価格で提供します。



こんなお話も



収納設備に限らずキッチン、バス、建具等のソフトウェア開発も行っていますのでお気軽にご相談ください。 FIT (クラウド) をベースに各社様のご要望に応じたカスタマイズを行い【お困り事】を解決いたします。 【お困り事例】

- ・提案〜製造に至る基幹システムはあるが、特注品が入った途端、見積りや図面作成に莫大な工数を掛けている。
- ・CAD設計を行っているが品種が多く、新シリーズ開発時等品番毎に膨大な図面を作成している。
- ・集合住宅の階別、タイプ別図面を大量に作成している。
- ■所在地:東京都渋谷区代々木3-28-6
- ■電話番号:03-5354-7671 (FIT事業部まで)

■ホームページ: www.furnituremaker.jp/



ハーフェレグループは1923年、ドイツのナゴルドで会社が創立され、今日では 150カ国以上のマーケットにおいて事業を展開しています。

ハーフェレジャパンは1992年に日本法人として設立され、ドイツを中心とした ヨーロッパの高品質高機能の家具金物、キッチンパーツ、建具金物、家具用 LED照明システム、木工用電動工具などバラエティ溢れる製品とサービスを提供しています。

ハーフェレのショールームは家具・建具金物を実際に手に触れて動かし、その 機能をご体感いただけるショールームとして好評をいただいております。

HAFELE

株式会社ハーフェレ ジャパン



横浜本社



ドイツ創業当時



新宿0ZONEショールーム



大阪ショールーム







主な取扱製品: 家具用金具・キッチンパーツ・家具用LED照明・建築用金物・木工用電動工具、等

こんなお話も

■ ハーフェレ学生デザインコンペティション

ハーフェレジャパンは、2009年より、非営利目的の良き企業市民を目指した社会貢献(CSR)活動の一環として、建築/インテリア業界の将来を担う学生を支援する競技イベント「ハーフェレ学生デザインコンペティション」を毎年開催しています。著名な建築家の方々に審査員として参加いただき、当活動を駐日ドイツ連邦共和国大使様にもご評価いただき、投賞式典に来賓としてご出席いただいた実績もあります。



2018 第10回ハーフェレ 学生デザインコンペティション 「Wellness architecture (ウェルネスアーキテクチャー)」



授賞式典



受賞作品バナー展

■所在地: 神奈川県横浜市上品濃14-17 ■電話番号: 045-828-3111 ■ホームページ: www.hafele.co.jp

水で世界に"waku-waku"を

わが社の自慢

Cleansui

三菱ケミカル・クリンスイでは、毎年2月に「クリンスイ発表会」を開催しております。新年度に向けた新製品の発表や販売戦略のご提案、当社のさまざまな取り組みをお取引先様・メディア媒体に向けてご紹介しています。

2019年はクリンスイ発売35周年ということで、東京国際フォーラム(ホール E2)で2月6日(水)、7日(木)の2日間にわたって開催。水を使った「体験」をテーマに、クリンスイのブランドコンセプト「水で世界に"waku-waku"を」への理解を促すことを目的としました。

- 1. 耳での体験:ステージで多彩なゲストによるトークセッションを実施。
- 2. 目と手で体験:主要商品を通水展示し、軟水でのシャンプー体験も。
- 3. 舌で体験:浄水の飲み比べや出汁やお茶の試飲、MIZUcafeのハンドドリップコーヒーなどをお楽しみいただきました。

東京会場には過去最多となるご来場様をお迎えし、クリンスイがご提案する 水のKAITEKIを体験いただくことができました。ご来場いただいたみなさま、あ りがとうございました。これからもみなさまに限りなく広がる水の可能性と、クリ ンスイの取組みをご紹介できるよう努力してまいります。

次回のクリンスイ発表会もどうぞご期待ください。



三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

「クリンスイ2019発表会」の様子



トークセッション



軟水でのシャンプ一体験



MIZUcafeのハンドドリップコーヒーの試飲

こんなお話も

クリンスイ発表会にご来場のお客様から毎回好評をいただいているのが、ここでしか 手に入らない来場記念品<クリンスイの水で仕込んだオリジナルのお酒>。

初回は2014年発表会の記念品「クリンスイ仕込み〜獺祭3割9分」でした。当時話題の テレビの某対決番組で共演(競演?)した旭酒造様に、「クリンスイで仕込んだ獺祭をつ くっていただけませんか?」とお願いしたのが始まりでした。

その後、焼酎やクラフトビールで仕込み水をクリンスイにしたコラボや、原料米の生育時にクリンスイの水を使った日本酒など、お客様に「今年は何?」と注目いただくほどに。

2019年は、山形県天童市の銘酒 出羽桜様とコラボ。熟した果実のような豊かな香りと、ドライ感のあるキレ、そしてお米のうま味と酸味の絶妙なバランスを持つお酒に仕上げていただきました。

このお酒は市販していませんので、ぜひクリンスイのアンテナショップMIZUcafe PRODUCED BY Cleansui(<u>www.mizucafe.jp</u>)でお楽しみください(5月末までの数量限定 メニューです。お持ち帰り用販売は行っておりません)。



クリンスイの水で仕込んだ オリジナルの出羽桜



アンテナショップMIZUcafe

■所在地:東京都品川区大崎1-11-2

■電話番号: 03-6633-9000

■ホームページ: www.cleansui.com/index.html

技風堂々No 013 発行責任者: 広報専門委員会 委員長: 柴崎 和彦 (クリナップ) 編集長: 松本 賢治 (TOTO)編集委員: 井上 知春 (ナスラック) 大崎 和美 (東京ガス) 滝川 光紀 (積水ホームテクノ) 田中 佐知子(三菱ケミカル・クリンスイ)塚原 敏夫 (パロマ) 土井 隆義 (永大産業) 中島 宏文 (タカラスタンダード)中村 覚 (TOTO) 藤田 東一(LIXIL) 山下 藍(渡辺製作所) 高木 利一(事務局) 田中 朋子(事務局)